

日本SOD研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協力：株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

特集 丹羽療法の原点 日本一空気のきれいな地 高知県の土佐清水訪問記

医療法人 修命会
土佐丹羽クリニック (旧土佐清水病院)

種子、植物、漢方、キノコ等から
独自の製法で作る
SODや丹羽療法生薬

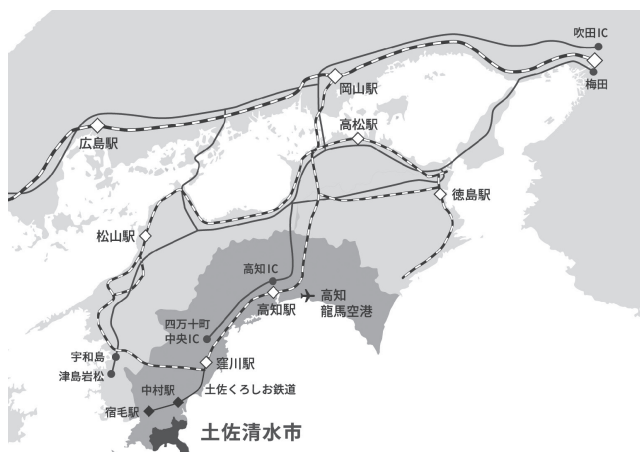
今回は、2年振りとなる丹羽先生へのインタビューのため、(株)丹羽メディカル研究所の代表と、先生が院長を務める土佐丹羽クリニック(旧土佐清水病院)にお邪魔しました。

土佐清水市は人口1万人あまりの小さな市ですが、四国最南端の足摺岬があり、風光明媚なところ です。その灯台からの風景は、見渡す限り太平洋の大海原。水平線がアーチ状に見え、地球が丸いことがわかるくらいです。地平線の彼方を時折、大型船が悠々と航行する様をみていると、気持ちまで大らかになります。

とはいえ、東京から飛行機、電車、バスなどを乗り継いで行くと、6時間近くも要する地です。(※図1参照)そんな彼方から先生はいつも全国の診療所を回り、患者さんを診てきました。先生の出身は関西なのに、決して交通の便がいいとは言えない遠いこの地に、どうして病院を作られたの

かと思えますよね。それには先生の強いこだわりがありました。先生はもともと体が弱く、喘息気味だったとか。それで日本一空気のきれいなところで病院を、という願いがあつたそうです。

「高知の土佐清水は、最寄り駅までバスで50分かかる。近くの高速インターからも1時間。トラックが土佐清水を通過して愛媛県のほうに行く通り道でもない。だから空気が日本一綺麗なんだ。大きな工場もない。当然、そこで採れる野菜や海の幸は汚染されていない」



(図1) 高知の龍馬空港から車で3時間。電車、バスを乗り継いで4時間半。四万十川を渡り、足摺岬を望む町、土佐清水の位置

不便でも環境を求めて永住した地だったのです。アトピー性皮膚炎の治療で土佐丹羽クリニックに入院されて治った患者さんが、もとの環境に戻ったらまたアトピーがぶり返したという話もあるくらい、病気と環境は繋がっているのかもしれない。

丹羽先生は、そんな土佐清水から、多いときは札幌、仙台、大宮、新横浜、名古屋、金沢、大阪、岡山、福岡などの診療所を巡っていました。コロナ禍で中断していた時期もありましたが、現在は、新横浜、名古屋、金沢、大阪、岡山、福岡の6カ所を回っています。なので土佐清水に帰るのは月の約半分、2週間だけ。もちろん土佐清水でも診察は行っています。加えて生薬の研究開発も日々続けています。天然の生薬、種子などを世界中から探し求め、それらの組み合わせや焙煎発酵の微妙な時間の調節を繰り返しながらいちばん効果的なものを求める作業はおそらく気の遠くなる時間と労力、能力を要してきたと思います。丹羽SOD様作用食品(以下、SOD)の開発からはや半世紀。先生曰く、

「SODは強力な抗酸化作用を発揮して、あらゆる疾患の元といわれる過剰な活性酸素を制御する、最高の予防医療のサプリメント」という。

先生はこのSODをベースに、その後、治療にも特化した生薬を次々に作りました。その原料は漢方などで使われてきたヒツ、茯苓、牛黄、大黃、冬虫夏草、山伏茸、アガリクスなど、独自の手法で体内で効果が発揮されるようにしてきたのです。その研究はまだまだ続いています。これまで取材でお会いするたびに、

「今度の冬虫夏草はいいぞ。良く効く。今までは中国の奥地で採れるものが一番だったから、それを使っていたが、ようやく国産でさうにいいものが安く手に入るようになった。これでみんな助かるぞ」とか「ブラジルのテコマイマーの抽出エキ스가、がんがいいぞ」など絶えず新しい生薬を調べ、試用しては効果の推移をみているのです。

今回は、そんな丹羽療法の虎の穴、SODの製造工場や、丹羽先生の研究所に長年このSOD研究

会報の制作に協力いただいたおります、(株)丹羽メディカル研究所の代表と一緒に邪魔してきました。ただし、工場と研究所の撮影は残念ながらNGでした。

最初にお邪魔したのはSODの工場でした。工場に入るときはマスク、手袋、ヘアキャップなどを装備し、異物が室内に混入しないよう厳重に管理される中、スタッフに案内されて入ったのが、SODを梱包する前の最後の工程、乾燥の部屋でした。大きな釜のようなものがグルグルと回り一定の熱を加えていました。これは、60度から70度でSODを乾燥させているようです。この温度管理が大事で、80度以上になると、SODの成分やビタミンが壊れてしまうとか。温度管理と異物混入には特に気を使うそうです。機械化されている部分もあれば、気を使う部分は手作業でこの道30年のベテランスタッフの皆さんが慣れた手つきで行っていました。

SODの工場から高台へ10分ほど行ったところにあるのが生薬の研究所と製造所です。様々な原産地から送られてくる生薬は、常時

温度と湿度が保たれている保管部屋に置かれ、それぞれに乾燥して細かくするもの、パウダー状にするもの、エキスを抽出するものなどに分かれていきます。なかには8キロ台の大きな土鍋が10個くらい並んでいる部屋があり、鍋の中ではどろっとした液体をグツグツと煮ていました。スタッフ曰く、これはアトピーの患者さん用の軟膏作りで、いくつかの生薬をパウダー状にしてこの鍋で2日間煮るとか。もちろん焦がしてはいけないので、絶えず混ぜながらの作業になります。強力な遠赤外線を発する特別な土鍋を使うことがポイントといえます。土鍋は軟膏作りだけでなく、別の部屋ではそれぞれの素材を焙煎する時にも使われていました。

「高温で煎ると表面が真っ黒に焦げて、抗酸化物質や、抗腫瘍物質は失活してしまいます。また、高熱の焙煎では、芯まで熱が浸透しません。しかし、うちが使っている土鍋で加熱すると、表面を焦がさずに芯まで熱が浸透していきます。そうして有効物質を失活させることなく、尚且つ天然の生薬や種子



昨年秋、卒寿（89歳）を迎えられた丹羽先生。



病院内に飾られていた丹羽先生の野球姿のイラスト。10年くらい前までは病院の野球チームを組み、先生自身もショート4番として出場していました。

が体内で効くようにするための重合チーンを切断するのです」

研究者である丹羽先生のお話は、ちよつと難しいですが、簡単に言うくと、よく漢方薬は効く人と効かない人がいて、効果も緩やかだといえます。それは、原始人のような胃液を持ったごくわずかな人が天然の生薬や種子に含まれる重合チーンというものを切ることで、効果が発揮されるからだといふのです。ところが火を使って調理するようになった現代人は強力な胃液が必要なくなり、チー

ンを切ることができない。つまりせっかくの生薬が吸収されないようになったと。丹羽先生はそのチーンを切る方法として焙煎、発酵、油剤化という3段階の活性化を編み出し、誰でも吸収できる効果的な生薬を作ること成功したのです。その具体的な過程を、今回、見せていただいたわけです。焙煎された生薬や種子は次に麴を加え、常時30度前後の温度に保たれた発酵専門の部屋に3ヶ月寝かされます。さらに常温で3ヶ月寝かせます。合わせて半年も待つ

のです。

その後、さらにいくつかの過程を経て、治療に使われている生薬ができあがります。これらの過程も、常に患者さんのデータと照らし合わせて微妙に変化させています。

今回、丹羽先生が治療で処方している生薬が、細心の注意と根気強い手間暇、半年以上という気の長い作業を経ていることを知ることができました。改めて丹羽先生の病に対する姿勢に心を打たれました。

そんな先生とお会いしたのは診療終わりの夕方でした。話は猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症についてでした。SOD愛飲者さんからの質問も圧倒的。まずはワクチンの是非について聞いてみました。

「ワクチンというのは本当にたくさんあって、なかには必要のないものもあります。コロナに関しては、賛否両論ある。十分な検証なく認可されているんだから誰も正解はわからない。ただ、お年寄りや持病がある人はやはり打った方がいいです。寿命が先か検証が先かわからないんだから、打った方がいい。糖尿病などの持病のある人は、もともと免疫力が落ちているし、普通の人より感染リスクが高い。感染したら重症化リスクも高い。しかし、子供や若者は感染しても重症化しないことがほとんどだから、躍起になってワクチンを打つのはどうかと思います。子供とお年寄りが同居しているなら、少なくとも食卓やトイレは別にするとか、よく消毒するなど気を使った方がいいでしょうね」

やはり重要なのは免疫力。となると日頃から気をつけることは「十分な睡眠とバランスの取れた食事、適度な運動とストレスのない生活。これに尽きます。コロナに限らず、がん、アトピーなどもそう。日頃からよく笑い、よく歩き、よく食べてよく寝ることです」



水野家の愛犬ピノ君。

ね。子供という共通の話題もなく、食事の支度も三度三度でしょ？私には私の時間やペースができてあがつているし、お友達との付き合いもあるし、なにかと忙しいんですよ」

そんなときにピノ君はやってきました。

「お友達の家で生まれて、一匹もらってくれない？と言われて見に行ったらもうだめでしたね。ダックスの子犬って、ほんとかわいいんです」

その日のうちに連れて帰ってきました。ワイン好きの章子さんがつけた名前がワインの品種である

ピノノワール、略してピノでした。小型犬とはいえダックスフンドは狩猟犬として改良され、勇敢で好奇心旺盛、活動的。中型犬並みの散歩が必要と言われています。

「そうなんです。リードの引きは強いし、活発すぎて振り回されました。おかげで私も朝夕2回、毎日欠かさず散歩に行くようになって、規則正しくなりました。近所の公園に行くと、犬のお散歩の方とあいさつしたり、いっしょにじゃれたりしているうちに、犬も飼い主も仲良しになるんです。犬友っていうんですか、お互いの家にお邪魔して家族ぐるみで付き合う仲間ができるんです。何よりもピノを介して主人との関係がなごやかになったんです。ピノがいなかったときは、主人が帰宅しても、おかえり、というくらいで、そこから会話らしい会話はなかったんです。でもピノが来てからは、今日ピノがああだった

たこうだった、と話題がつきません。子はかすがいならぬ犬はかすがいです」

といってほがらかに笑う章子さん。お写真は載せられなかったのですが、とても60歳代には見えない若々しさ。スリムジーンズが似合う抜群のスタイルと張りのある美肌。ピノ君効果が美容や健康にも影響しているのでしょうか。そのあたり、何か特別なことは？と伺うと、

「特別なことは本当に何もしていません。しいてあげるなら、知り合いに勧められたSODを毎日2包欠かさず飲んでいくくらいです。もう7年くらい飲んでいくかしら」

聞くと、他の健康食品は一切、摂っていないとか。

「健康オタクというわけでもないんですが、口にするモノには気を付けてきたかもしれません。タブレットのビタミンを飲むよりは、新鮮なお野菜をしっかり摂るほうがいいじゃないですか。市販の野菜ジュースや青汁も悪くはないのかもしれませんが、やはり新鮮な野菜には到底かなわないと思っています。

そんななか、SODは、食事だけでは補えない必要な要素を満たしていると思いました。友人からSODのお話を聞いて、これは50歳過ぎたら必要なモノじゃないかと理解できたんです。活性酸素が除去されれば老化にブレーキがかかるわけですから」

風邪くらいで病院？ 日本はスポイルされている

お話を伺うにつれ、章子さんの健康に対する知識の確かさに驚くことしきり。どうしてなのか聞いていくと、ご主人の仕事の関係で10年以上海外で生活していたとか。「海外にいと、風邪を引いたくらいで病院にかかったらとんでもない額を請求されます。うかつに病院に行けない。ニューヨークにいたときなど、診察だけで1000ドル(約10万円)で入院なんてしよなものなら1日数千ドル(3、40万円)かかるんです。ですから、風邪を引いたら水分を摂って寝る。風邪を引かないためには免疫力をつける。免疫力をつけるにはちゃんとした食事と運動。この繰り返し

でした。日本はほんとうに医療に
関してはスポイルされていますね。
検査と薬漬けのお年寄りが多い。
安価だから、みなさんほんとうに
病院と薬がお好き。怖いですよね」

グローバルな視点から誰もがお
かしいと思っていることを実直に
話してくださった章子さん。愛犬
家としてだけではなく、非常にイ
ンテリジェンスの高い方だと感じ
ました。だからこそ、本物の効果
を実感したといえます。

「私のように特に持病がなくて元
気な人間は、サプリを飲んでも効
果なんか分らない。ましてやサ
プリだけで重病が完治したなんて

人、周囲にいます？ せいぜい数値
がちよっと良くなった、気のせい
くらいでしょ？ それがSODは
違ったんです。勧めてくれた友人
が、体調の悪いときとか風邪かな
と思ったときに、いつもの2〜3
倍くらいSODを飲んでみてって
いうんです。騙されたと思って風
邪気味で喉が痛い夜、5包飲んで
寝たんです。そうしたら翌朝、い
つもより気分が良くて、風邪の兆
候なんか全くなかったんです。
ただ、私も1回くらいでは騙

されません。今度はすごく忙しい
日、くたくたになってぐったりし
ていたんです。そこでSODを思
い出して5包、立て続けに飲んで
みたんです。そうしたら10分くら
いして、なんだか急に元気が出て
きたんです。以来、SODってす
ごい！って信者になってしまいま
した(笑)」

以来7年間、SODを愛飲して、
コロナ禍も全く心配しなかったと
いいます。SOD仲間とシニア同
士で外食も行くし、スポーツジム
がお休み中は、犬と一緒に5キロ
くらい平気で歩いていたとか。



歯茎の腫れ、心臓の雑音、 ヘルニア 年相応の症状がSODで 緩和

「ピノにSODをあげ始めたのも普
通のことでした。初めは人間用を
あげていたのですが、動物用があ
ると聞いてすぐに近所の動物病院
で取り寄せてもらいました(今は動
物病院でなくても購入できます)」

章子さんもピノ君も、周囲がエツ
と驚くほど若々しく、やはり効果
のほどはわからなかったそうです。

「とにかくありがたいことにピノは
これまで病気知らずでした。それ
でも去年の夏頃、歯石取りくらい
はしたいなと思ったんです。犬の
場合、歯石取りでも全身麻酔が必
要なんです。今は麻酔なしで取る
病院もあるのですが、それって犬
がすごく痛い思いすると聞いたし、
麻酔薬も進化しているというので、
思い切って手術をするつもりでし
た。そこで念のための検査をし
たら、なんと、心臓に雑音と影が見
つかったんです。どうするか獣医
さんと相談して、歯石くらいは放
置しておいても死ぬことはないけ

ど、麻酔で心臓に負担がかかるの
は命に関わると思ったんです」

若く見えても13歳のピノ君のこ
とを考えた仕方ないことでした。

「衰えは急にくるものなんです。心
臓の影が発覚した直後、今度は
腰にヘルニアのような症状が出
たんです。抱っこしようとして腰に
手を当てたらキャンキャン鳴いて
痛がったんです」

病院ではダックスは胴が長い
からどうしても腰に負担がかかるの
で階段の昇り降りは抱っこするよ
うに言われたとか。

「しばらくは走ることもせず、急
におとなしくなってしまうたんで
す。初めてのことで本人もすごく
ショックだったんでしょうね。こ
れまで公園では小型犬のボスの存
在で、ドッグランでボール投げを
すると誰よりも早く取ってくる子
だったんですが、このときは他の
子に負けて、しょんぼりしていま
した。サル山のボスザル交代のよ
うな風景でした。代わりにボスに
なったシユナウザー君はまだ4歳。
意気揚々としていてうらやまし
かったですね」

とうとうそんな時が来てしまっ

たことに章子さんも気落ちしたそうです。が、そこでめげてしまう水野家ではありません。ご主人が何気なく、

「この際だからあなたの崇拝しているSODをいっぱいあげてみたら？」

といってくれて、その日から朝晩1包ずつたっぷりと餌に混ぜてあげてみました。

「ホントにSODの速効性にはびっくりでした。2包ずつあげて3日目、ピノが公園で走れるようになったんです。ボール遊びも誰よりも早く取りに行って、喜々として帰って来ました。シュナウザー君の飼い主もびっくり。うちは3日天下だったわ」と笑っていました。とはいえヘルニアはダックスの持病のようなものですから以後、階段などは気をつけています」

ほんとうにSOD効果がどうかはわからなかったのですが、その後、さらに奇跡がいくつか重なったのです。

「去年の11月のある日、いつものようにピノの歯磨きをしていたら今度は右上の歯茎が腫れているのを発見したんです。その腫れが日

ごとに大きくなっているのが病院で診てもらったら、手術で取り除く以外は炎症止めの薬くらいしか方法がないと言われ、やむなく薬を数日飲ませたのですが一向に治まらないんです。食欲も落ちるし、痩せてくるので心配していたんです」

そこで登場するのが、ご主人のSODのひとつでした。

「そんな神頼みみたいにSOD、と思いましたが、わらにすがってしまいました(笑)そうしたら翌日から少しずつ腫れが引き、1週間くらいしたら元通りの歯茎になったんです。おまけに心臓の影を専門医に診てもらうために紹介状を書いてもらおうとお願いして、心音の雑音を調べたら、まったく雑音がなくなっていたんです。そんなことであるんでしょうか。先生も、首をひねっていました。まあ、まれにSODのようなものが効くこともあるかもしれませんね」ですって」

動物用のSODに関しては、次回、開発者の長瀬先生にこの事例を含め、いろいろ伺ってみたいと思います。が、しかし、ピノ君が

元気になってなによりです。

「そうなんです。トシがトシですから、ピノだけでなく私も(笑)この先いろいろあると思うんです。でも、我が家にはSODがあります。飲まないよりは飲んだ方が緩やかにトシをとっていきけると確信しています。同時に、なるべくケミカルなものに頼らず、余計な情報に踊らされず、自分を信じて過ごしていければいいと思います」

ゆるやかにトシをとっていきたい、いいことばですね。その片隅にSODが寄り添っていられることが嬉しいです。

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都 世田谷区
玉川1-15-2 B棟2802

日本SOD研究会 宮城宛
Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

この会報219号は日本SOD研究会及び株式会社丹羽メディカル研究所が丹羽耕三先生に許可をいただいて掲載しております。当研究会の許可なく、すべてのテキスト、画像等の転載、複製、転用を固く禁じます。また、まとめサイト、ブログ等への引用を厳禁いたします。

◆丹羽療法の診察をご希望の方は、ご紹介、ご予約いたします。

(自由診療となります)

※現在、丹羽先生の診察は新型コロナウイルス感染症対策の為、お休みになることもあります。予めご了承ください。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐丹羽クリニック院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。

「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある